

《3/9 大船渡》50人の若者が集まり これからの沿岸での働き方について考える

セミナー 気仙沼ニッティングについて学び、岩手での仕事の仕方を考える

特定非営利活動法人wiz(所在地:岩手県大船渡市 代表理事:中野圭 以下「wiz」)では、今年度、「岩手県 平成26年度復興支援の担い手の運営力強化実践事業」を受け、数回にわたる「wiz study」と名付けた勉強会や、「wiz night」と称した交流会を岩手県気仙地域、盛岡市を中心に実施してきました。

「wiz study」では、毎回日本全国から様々な分野におけるスペシャリストを講師として招き、岩手で活動する方々を中心に参加者を募り、多くの気づきや出会いの場を創出してきました。

今回の「wiz study」では、岩手県の隣は宮城県気仙沼より、株式会社気仙沼ニッティング 代表取締役である御手洗 瑞子(たまこ)氏を講師としてお招きし、東日本大震災後に起ち上げた気仙沼ニッティングの取り組みや持続可能なビジネスにするために努めていること等をお聞きします。岩手で仕事をしている方々に、今一度、岩手での仕事の仕方を考えるきっかけにしてほしいと考えています。

イベント詳細

日時:2015年3月6日(金)18:00~19:30(20:30から懇親会を予定)

会場:大船渡リアスホール 会議室1、2
(大船渡市盛町字下館下18-1)

定員:50名

※当日参加も可能ですが、可能であれば、事前にinfo@npowiz.org
にご連絡をお願いします。

参加費:無料

内容:

■講演

「気仙沼ニッティングについて学び、岩手での仕事の仕方を考える」

スピーカー:

株式会社気仙沼ニッティング 代表取締役

御手洗 瑞子氏

■トークセッション

ファシリテーター:

NPO法人wiz理事 佐々木 敦代(住田町 集落支援員)

— ゲスト —

御手洗 瑞子氏

(株式会社気仙沼ニッティング 代表取締役)

1985年、東京生まれ。東京大学経済学部卒業。経営コンサルティング会社のマッキンゼー・アンド・カンパニーを経て、2010年9月より1年間、ブータン政府のGNHコミッションに初代首相フェローとして勤め、ブータンの経済的自立を目指した産業育成の仕事に従事した。

東日本大震災後に帰国し、復興を越えて地域に持続していく仕事をつくろうと、手編みのセーター・カーディガンのハイブランド「気仙沼ニッティング」を起ち上げる。2013年に法人化し、株式会社気仙沼ニッティングを設立し、代表取締役に就任。



NPO法人wizとは

wizは「若手のネットワークで岩手を盛り上げる」をビジョンに掲げ、岩手県に関わる若者のネットワーク構築のための勉強会・交流会の運営を行っており、14年5月から300名以上が参加しています。IWATE実践型インターンシップのコーディネートに加え、今後は岩手に特化したクラウドファンディングの運営、U・Iターン促進に向けた情報発信を展開予定。



交流会の様子



勉強会の様子



インターンシップのコーディネート



岩手に特化したクラウドファンディング

報道関係お問合せ先

NPO法人 wiz(ウィズ) 担当:佐々木、黒沢
TEL:080-9017-7214、E-Mail: info@npowiz.org
HP(Facebook): <https://www.facebook.com/npowiz>